

ChatGPT に聞いてみた ドラマや小説「その一言が、君を壊した」

ChatGPT:

素晴らしい選択です。このテーマは社会的にも深く、フィクションにすることで多くの人の心に届く力があります。以下に、小説やドラマの企画案を3タイプご提案します。

【企画案①】青春×社会派ミステリー

タイトル案:「その一言が、君を壊した」

■ あらすじ

進学校に通う3年生の主人公・遥斗(はると)は、ある日、同級生の女子・美咲が突然不登校になる事件に遭遇する。

SNSでは「彼女がリベンジポルノをばらまかれた」という噂が飛び交い、犯人探しが始まる。

実は遥斗自身も、過去に無自覚に「ある言葉」を彼女にかけていた。その言葉が連鎖して事件へとつながっていたと気づく。

事件を追う中で、学校に隠された加害と被害の構造、教師の沈黙、そして同調圧力の本質が明らかになっていく。

■ 主な登場人物

- ・ 遥斗(主人公): 中立的で目立たない男子。良心的だが無関心気味。
- ・ 美咲(不登校になった女子): 成績優秀で誰からも好かれていた。
- ・ 立花先生: 理不尽を許さない若手教師。過去にセクハラ被害の経験がある。
- ・ 翔吾(加害の中心にいた男子): 無自覚に差別や暴言を吐く“普通の”少年。

■ テーマ

- ・ 加害者にもなる「無自覚な日常」
- ・ 同意と境界、SNSと暴力
- ・ 教育の限界と希望

【企画案②】NHK 風 教育ヒューマンドラマ

タイトル案:「僕たちの答え合わせ」

■ あらすじ

公立高校で行われる新しい授業「社会とわたし」。テーマは「加害と被害」。
生徒たちはロールプレイやディスカッションを通して、自分たちの中に潜む差別、無意識の暴力、沈黙の共犯を知っていく。

当初はふざけたり居眠りしたりしていた生徒たちが、身近なトラブル(いじめ、暴言、痴漢冤罪、SNS 炎上)をきっかけに、真剣に向き合い始める。

■ 特徴

- 各話完結型で、毎回違うテーマ(セクハラ、同意、差別、加害の無自覚 etc)
- 実話に基づいた構成
- 教室劇にしながら、社会の縮図を描く

【企画案③】ディストピア風 ジェンダー・サスペンス

タイトル案:「選別の日」

■ あらすじ

近未来、少年犯罪・性犯罪・暴力事件の多発により、政府はある制度を導入した。
16歳の誕生日に「加害リスク評価プログラム」によって、将来加害者になる確率が高いと判断された生徒は、隔離施設で“再教育”を受けさせられる。

「加害者予備軍」とされた主人公・ユウトは、自分がなぜ選ばれたのか分からず混乱するが、施設で過ごすうちに自分の過去の言動が誰かを傷つけていたことに気づく…。

そして、施設に疑問を持った少女との出会いを通して、「本当の教育とは何か」を探し始める。

■ テーマ

- 差別と教育の紙一重
- 予防と監視の境界線
- 無意識の暴力をどう克服するか

どの形式で書きたいですか？

- 小説スタイルで書き始めたい？
- 脚本やシナリオ風に展開したい？
- 短編 or 長編？